

B-14
K
LP

昭和38年度：特任史卷
要録調査表実施要領

LIBRARY
UNIVERSITY
OF
TOKYO

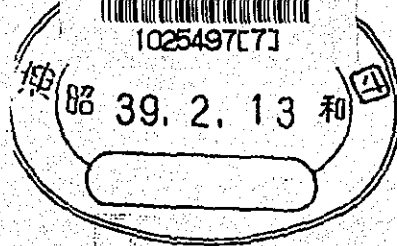
國際協力事業團	
品名	
数量	
単位	
仕入No.	

昭和38年度
移住地農家実態調査
実施要領

JICA LIBRARY



1025497〔7〕



昭和38年12月

海外移住事業団

國際協力事業団	
受入 月日 58. 8. 20	703
船日 84. 8. 21	818
登録No. 13383	4EM

昭和38年度移住地農家実態調査実施要領

1. 目 的

農業移住者の実態を定期・継続的に調査、集計、分析しその現状を把握するとともに今後の営農計画、営農指導ならびに、移住希望者啓発の基礎的資料とするものである。

(注) 日本国内の開拓地については、農林省農地局が中心となつて戦後緊急開拓が開始された翌年からこの種の調査が継続実施され、その結果は開拓地営農実態調査、開拓農家経営経済調査報告書として公表され、開拓地経営指導の重要な指針となつている。

一方海外の移住地については開始後10ケ年を経過したが、その間地域的断片的な調査が行なわれているだけで全地域について統一性、継続性をもつた調査が実施されておらず、ために総合体系的な資料がなく必ずしも科学的計画的な営農指導が行なわれているとはいえない。

旧海外協会連合会においてもその必要性を求め、昨年度からこの調査を開始した。今年度も昨年度に継続して略同一の手法でこの調査を実施する。

2. 調査時期

昭和38年1月～3月の間に実施する。

ただし静態的な要素(調査票の家族構成～借入金残高の10項目)については、38.1.2.3.1現在を動態的な要素(調査票の永年作物以降の項目)は、38.1.1～38.1.2.3.1について調査記入する。

(注) 昨年度は調査時期を支部が任意に定めたが、統計作成予算配付の関係上本年からは上記に統一する。

3. 調査員

支部の営農指導員および指導農場技術職員または事業所技術職員

(注) 特別の事情なき限り部外者への委嘱は認めない。調査員編成は支部勤務職員1～2名、事業所勤務職員1～2名とし、調査方法の統一、慣熟のため前者は同一人が各地域を巡回することが望ましい。

4. 調査地区

- (1) サントドミンゴ支部管内…… ハラバコア、コンスタンサ、ダハボン、アグアネグラ
- (2) ベレーン 支部管内…… モンテアレグル、エフゼニオサーレス、

- ベラビスタ(含アリアウ), トレーゼツテンプロ
 キナリー, タイアーノ, カンボウエルジ, マタビー,
 トメアス, グアマ, ロザリオ, ムルアイ, ベレーン近郊
- (3) レシーフエ 支部管内…… ビオ12世, ビウン, プナウ, リオ・ポニト,
 クビチエツク, イツベラ, ウナ, レシーフエ近郊
- (4) リオデジャネイロ 支部管内…… フンシヤール
- (5) サンパウロ 支部管内…… ジャカレイ, オーリンニヨス, ダアタバラ, ドラードス,
 ヴアルゼアレグレ
- (6) ボルトアレグレ 支部管内…… ボルトアレグレ近郊
- (7) ブエノスアイレス 支部管内…… ガルアペー, ウルキツサ
- (8) アスンシオン 支部管内…… チヤベス, フラム, アルトバラナ, カフエー,
 イグアス, アスンシオン近郊
- (9) サンタクルース 支部管内…… サンフアン

5. 調査対象農家

前年度調査したものを継続する。

なお37年度の抽出基準はつぎのとおりであつたが、今後全数に増減を生じた場合はこの基準によるものとする。

“前項に記載した地区居住の邦人自営農家を無作為に抽出する。但し各地区の抽出比率はその農家戸数に応じ以下の割合とする。”

- | | | | |
|-----|----------|-----|------------------|
| (イ) | 25戸以下 | の地区 | 全戸 |
| (ロ) | 20戸～50戸 | ” | $\frac{3}{4}$ 以上 |
| (ハ) | 51戸～150戸 | ” | $\frac{1}{2}$ ” |
| (ニ) | 151戸以上 | ” | $\frac{1}{3}$ ” |

6. 調査方法

調査員が戸別に訪問し、調査票項目を聴取する。

(注) この場合被調査者が他人の記入欄にやたらに関心を示し調査上支障となることもあるので、農家番号だけ記入するに止め浄書の際に氏名を書き添えることとする。

7. 調査票記入要領

(1) 全般的注意

- ① この調査票1枚に20戸を連記する。
- ② 1枚に他地区のものを混入しないこと。

③ 1地区が2枚以上に亘る場合(1地区の調査戸数が21戸以上ある場合)は左上端の
右欄につぎの例によつて記入のこと。

No. 1/5 (サンファン)…………… サンファン地区 5枚の中の1枚目

No. 3/7 (フラム)…………… フラム地区 7枚の中の3枚目

④ 右上端支部欄に支部毎の連番号をつぎの例によつて記入のこと。

サンバウロ支部 7/10 …………… サンバウロ支部 10枚の中の7枚目

⑤ コピーを作成する関係上黒インクまたは濃い鉛筆を使用のこと。

⑥ 数字はすべてアラビア数字を用いること。

⑦ 「不明なこと」については「√」を「無し」の場合は「0」を記入すること。

⑧ 面積、収量については各支部で統一された単位を記入し、その単位をHa(ヘクタール)
Kg(キログラム)等メートル法が望ましく、年は西暦年で使用する。

(2) 各項目の記入について

① 農家番号…… 昨年度の分を継承し、番号の若い順から記入する。

(この番号は移住地毎の調査世帯の個有番号とし、転住者を生じた場合は欠番とする。)

② 入植年次…… 当該移住地に入植した年月を「年/月」という形で記入する。

なお同伴者として入植しその後独立したものについては、独立年月を備考欄に

「年/月独立」と記入する。年は西歴を使用する。

③ 「年令別家族数」は同一生計の家族(同伴者をふくむ)を満年令で区分する。

④ 「農業従事者数」は専従者1人、補助者を0.5人として記入する。

この場合補助者とは生徒児童、老令者などではあるがこの者の補助がなくては営農に大
きな支障を示す者に限り()に表示する。

例 2(0.5) 専従者 2名 補助者 1名

3(1.5) " 3名 " 3名

⑤ 「計画農用地面積」…… 自己の現在所有地と現在国有地、州有地、移住事業固有地で
あるが将来自己の所有地となる(いいかえれば使用权を有する)土地についてその利用計
画に基き耕地、採草、牧草、森林に分け面積を記入する。

⑥ 「現在耕地面積」…… 現在耕作している土地の総面積、借地を含む場合は備考欄に
「借地××」と記入する。——「その他」には「普通畑」「樹園地」以外のもの、例えば
水田がある場合「水田××」と記入する。

⑦ 「農用建築物施設」…… 空欄には畜舎、鶏舎、収納舎以外の主要なる施設がある場合記
入する。坪数の単位は坪または㎡を明記する。

- ⑧ 「農機具台数」…… 共有する場合、例えば三人で一台の農機具を共有する場合は「 $1/3$ 」と記入する。「トラック」には「オート三輪車」も含める。
- ⑨ 「家畜頭数」…… 「馬」「牛」「豚」とも「成」「子」の合計を記入し「子」の数は「()」内に記入する。「鶏」は雛も含め総数を記入する。雛は()内に入れる。「ラバ」「ロバ」は「馬」に含める。空欄にはその主要な家畜、家禽を記す。
- ⑩ 「現地携行資金」…… 当該移住地入植時の携行資金を記入する。
- ⑪ 「入植以来現在までの借入金合計」…… 「短期資金」「長期資金」とも当該移住地入植以後現在までの事業団(旧海外移住振興株式会社をふくむ)現地金融機関その他よりの借入金の総累計を記入する。
- ⑫ 「永年作物」…… 当該地区の主要永年作物名を空欄に記入し、その夫々につき「本数」及び「総収量」を記入する。但し幼令のため収穫がなかつた場合でも「本数」に計上する。なお各永年作物につき当該地区単位面積当りの平均植付本数、成熟木半年の平均収量及び完成年(植付から成熟までの所要年数)を調査票末尾に別記する。
- ⑬ 「短期作物」…… 当該地区の主要短期作物名を空欄に記入し、その夫々につき1年間の延作付面積と1年間の総収量を記入する。但し作付面積は収穫期をむかえた短期作物の面積を言う。なお間作、混作などは各作物の土地利用割合によつて夫々の作物の作付面積を算出する。
- ⑭ 「自家消費向生産物評価額」…… 米、野菜、卵、肉、トウモロコシ等々自家用に消費された生産物を時価で評価し、その総額を「食糧」「飼料」に分け記入する。
- ⑮ 「農外記入」…… 賃金(労賃)商業収入等自家営農以外からの全ての収入を言う。農外収入が農業収入に比し多額の場合はその農外収入源となる仕事名を備考欄に記入する。
- ⑯ 「伐開」…… 伐採、山焼、あとかたづけの経費
- ⑰ 「人夫」…… 「伐開」以外に使用した一切の雇用人夫賃
- ⑱ 「材料」…… トマトの支柱、ブドウ畑用針金、出荷用箱等々
- ⑲ 「主食」「副食及び調味料」
両者が明確に区別出来ない場合は便宜的に両者の合計を両項の中間に記入してさしつかえない。
- ⑳ 「租税公課諸負担」…… 調査年に支払つた外人登録料、身分証明書料、所得税、組合費等の合計を記入する。なお当該地区の通常農家の組合費は欄外該当欄に別記する。
- ㉑ 「備考」…… 前記した「独立年次」「借地」「農外仕事名」のほか、その年度に於ける資本投下額(通常の農業経費以外のもの)を「資投××」という形で記入する。

又特記すべき事項、例えば「家長1ヶ月入院」「干ばつにより水稲3ha枯死」等々を記入する。

備考欄に書ききれない場合は余白を利用する。

(3) 別記事項

- ① 「地区名」…… 移住地名、例えばアルトバラナ、ジャカレイ、ダハボン等と記入する。
- ② 「移住地所在地」…… 当該移住地の国、県(州)郡、村名を記入する(例 ドミニカ共和国ダハボン県、ダハボン市、ピイア)
- ③ 「組合名」…… 法定(登録名を原文で入れる)任意、組合を問わずその日本語の名称を記入する。
- ④ 「入植戸数」…… 当該地区への現在までの入植総戸数を日本人と現地人に分けて記入する。
- ⑤ 「緯経度」…… 「S_____°_____′._____″」 「W_____°_____′」という形で記入する。
- ⑥ 「標高」…… 当該移住地の平均標高を記入する。
- ⑦ 「移住地の中心から最寄りの交通機関までの距離」…… 当該移住地の中心から最寄りのバス、汽車等の停留所までの距離を料にて記入する。
- ⑧ 「共同施設」…… 当該移住地内にあり、入植者が利用し得る全ての共同施設について記入する。事業団貸与のものについては注記する。
- ⑨ 「総括責任者名」…… 支部長或は支部長により指名された本調査の総括責任者の氏名及びサイン
- ⑩ 「通貨換算率」…… 調査時点(38.12.31日現在)での通貨の米ドルとの換算率を記入する。
- ⑪ 「永年作物の単位面積当り平均本数平均収量及び完成年」…… 各主要永年作物につき当該地区での単位面積当りの平均植付本数及び完熟時にある樹の平年作の平均収量及び完成年(植付から成木までの所要年数)を記入する。
- ⑫ 「組合費」…… 当該地区の普通農家の組合維持のための通常負担額を記入する。
- ⑬ 「調査時点」…… 静態調査は調査時点(38.12.31)を記入する。動態調査はこの調査時点から過去1ケ年の実績についてであり「38年1月1日より38年12月31日までの過去1ケ年の実績」を記入する。
- ⑭ 「調査年月日」…… 上記の調査時点(38.12.31)とは別に実際に調査を行なった日付を入れる。

8. 集計，報告書の作成

(1) 集計，報告書の作成は本部で実施する。

したがって各支部は調査票の1部を39年4月30日まで本部に送付すること。なお支部は調査票の控1部を保有し支部独自の分析をするともに来年度調査実施の際の参考にする。

(2) 本部は調査票を分析集計し大要つぎの内容の報告書を作成する。

- ① 各移住地の概要
- ② " 家族構成に関する統計
- ③ " 資産構成に関する統計
- ④ " 作物，作付，収穫高構成に関する統計
- ⑤ " 営農収支構成に関する統計
- ⑥ " 営農収支と労働員数の関連
- ⑦ " 営農収支と入植年数の関連
- ⑧ " 営農収支と資金・農機具の関連
- ⑨ 移住地別，地域別，国別の比較
- ⑩ 統計に表われた各移住地の問題点
- ⑪ 調査個表（氏名を除いた）を添付

(3) 報告書は500部タイプ印刷しつぎの関係各部に配付する。

外務，農林等関係各省（50）	地方海外協会（92）
各 県 （92）	事業団体支部（100）
在外公館 （50）	移住関連団体（50）
本部用（含予備）（66）	

⑫ これに要する経費（約25万円）は39年度予算に計上する。

S. 経 費

各支部経費として総額1,225,230円（支部別は次表のとおり）

支 部 名	調 査 戸 数	全 数	延 人 員	日 当	宿 泊 料	航 空 賃	燃 料 費	交 通 費	計
サンタクルス	95	285	30	8,640	19,800	0	7,600	0	36,040
アモンソン	366	910	118	64,800	113,400	14,400	26,000	36,000	254,600
ブエノスアイレス	47	84	15	7,920	12,600	30,240	6,900	1,440	59,100
サントドミンゴ	69	77	20	21,600	52,200	0	13,200	0	87,000
リオデジヤネイロ	33	44	10	5,040	9,000	0	2,100	0	16,140
サンパウロ	149	242	48	31,680	66,600	20,880	18,900	18,000	156,060
レシ-フエ	119	168	37	30,960	70,200	51,120	3,300	26,280	181,860
ポルトアレグレ	37	50	12	8,640	0	0	4,200	0	12,840
ベレ-ン	385	760	127	86,400	199,800	102,960	18,750	13,680	421,590
計	1,300	2,620	417	265,680	543,600	219,600	100,950	95,400	1,225,230

(注) 積算内訳と基礎は別表内訳書参照

昭和38年度農家経済調査経費積算内訳(1)

支部名	移住地名	調査戸数	(全数)	延人数 人×日=延	日 当		宿 泊 料		航 空 賃		燃料(ガソリン)代		バス・タクシーなど交通費		支部別計	備 考
					単価×日数×人数	金額	単価×日数×人数	金額	経由地 単価(\$) ×回数×人数	金額	1KM当単価×料数	金額	経由地 単価×回数×人員	金額		
サンタクルス	サンフアン	95	(285)	3×10=30	720×12×1	8640	1800×11×1	19800		0	10×(180×2+60×10)	7600		0	36040	調査員 支部 1名 サンフアン事務所 2名
サンパウロ	ジャカレイ	26	(35)	2×4=8	720×4×1	2880	1800×3×1	5400		0	10×(150×2+20×4)	2800		0		" 支部 1名 ジャカレイ事務所 1名
	オーリンニヨス	17	(17)	2×3=6	720×5×2	7200	1800×4×2	14400		0	10×(380×2+10×3)	8900		0		" 支部 2名
	グアタバラ	45	(90)	2×7=14	720×9×1	6480	1800×8×1	14400		0	10×(400×2+10×7)	8700		0		" 支部 1名 グアタバラ事務所 1名
	ドラードス	30	(59)	2×5=10	720×7×2	10080	1800×6×2	21600	サンパウロ〜ドラードス 3600(10\$)×2×2	14400		0	ジープ賃料 3600(10\$)×5日	18000		" 支部 2名
	ヴァルビエグレ	31	(41)	2×5=10	720×7×1	5040	1800×6×1	10800	サンパウロ〜ヴァルビエグレ 3240(9\$)×2×1	6480	10×(10×5)	500		0		" 支部 1名 ヴァルビエグレ事務所 1名
	(小計)	(149)	(242)	(48)		(31680)		(66600)		(20880)		(18900)		(18000)	(156000)	
レジーフェ	ビオ12世	4	(4)	1×1=1	720×2×1	1440	1800×2×1	3600	レジーフェ〜フォルタレーザ 7200(20\$)×1×1	7200		0	フォルタレーザ〜ビオ12世 1800(5\$)×1×1	1800		調査員 支部 1名
	ビウン	9	(9)	1×3=3	720×4×1	2880	1800×4×1	7200	フォルタレーザ〜ナタール 3600(10\$)×1×1	3600		0	ビオ12世〜フォルタレーザ 1800×1×1 ナタール〜ビウン 2160×1×1	3960		" " 1名
	ブナウ	13	(13)	1×4=4	720×6×1	4320	1800×5×1	9000	ナタール〜レジーフェ 3600(10\$)×1×1	3600		0	ビウン〜ブナウ 2880×1×1 ブナウ〜ナタール 1800×1×1	4680		" " 1名
	リオ・ホニート	11	(11)	1×3=3	720×5×1	3600	1800×4×1	7200		0	10×(150×2+10×3)	3300		0		" " 1名
	クビチエック	49	(98)	2×7=14	720×8×1	5760	1800×8×1	14400	レジーフェ〜サルバドル 10800(30\$)×1	10800		0	サルバドル〜クビチエック 2160×1	2160		支部 1名 クビチエック 1名
	イツベラ	10	(10)	2×2=4	720×3×2	4320	1800×3×2	10800	サルバドル〜イツベラ(テコテコ) 3600(10\$)×1	3600		0	クビチエック〜イツベラ 2160(6\$)×2	4320		支部 1名 移住地 (クビチエック) 1名
	ウナ	23	(23)	2×4=8	720×6×2	8640	1800×5×2	18000	イツベラ〜イレウス(テコテコ) 3600×1 イレウス〜レジーフェ 14400×1 イレウス〜サルバドル 4320×1	22820		0	イツベラ〜ウナ〜イレウス 3600×2 サルバドル〜クビチエック 2160×1	9360		
	(小計)	(116)	(168)	(37)		(30960)		(70200)		(51120)		(3300)		(20280)	(181860)	
アスンシオン	チャベス	50	(100)	2×8=16	720×8×2	11520		0		0	10×(50×2×8)	8000		0		調査員 エンガ事務所 2名
	フラム	123	(370)	2×20=40	720×22×1	15840	1800×21×1	37800		0	10×(100×2)	2000		0		エンガ事務所 1名 フラム " 1名
	アルトバラナ	93	(280)	2×15=30	720×17×1	12240	1800×16×1	28800		0	10×(100×2+20×1)	7000		0		エンガ事務所 1名 バラナ " 1名
	カフエー	60	(120)	2×10=20	720×12×2	17280	1800×11×2	39600	アスンシオン〜カフエー 3600(10\$)×2×2	14400		0	ジープ賃料 1日 10\$ 3600(10\$)×10	36000		" 支部 2名
	イグアス	20	(20)	2×3=6	720×5×1	3600	1800×4×1	7200		0	10×(300×2+20×3)	6000		0		支部 1名 イグアス事務所 1名

昭和38年度農家経済調査経費積算内訳(2)

支部名	移住地名	調査戸数	(全数)	延人数 人×日=延	日 当		宿 泊 料		航 空 費		燃料(ガソリン)代		バス・タクシーなど交通費		支部別計	備 考	
					単価×日数×人数	金額	単価×泊数×人数	金額	経由地	単価(\$) ×回数×人数	金額	1KM当単価×料数	金額	経由地			単価×回数×人数
アスンシオン	アスンシオン近郊	20	(20)	2×3=6	720×3×2	4320		0		0	10×80×3	2400		0		調査員支部 2名	
	(小計)	(366)	(910)	(118)		(64800)		(113400)		(14400)		(20000)		(80000)	(254600)		
プエンスアイレス	ガルアペー	38	(75)	2×6=12	720×8×1	5760	1800×7×1	12600	プエンスアイレス	15120(42\$)×2×1	30240	10×15×6	900	ボサータス〜ガラツペ	720×2×1	1440	調査員支部 1名 カルパタス事務所 1"
	ウルキツサ	9	(9)	1×3=3	720×3×1	2160		0		0	10×50×2×3	6000		0		"支部 1"	
	(小計)	(47)	(84)	(15)		(7920)		(12600)		(30240)		(6900)		(1440)	(69100)		
ポルトアレグレ	ポルトアレグレ近郊	37	(50)	2×6=12	720×6×2	8640		0		0	10×90×6	4200		0	(12840)		
サントドミンゴ	ハラバコア	15	(15)	2×2=4	720×2×2	2880	1800×3×2	10800		0	サントドミンゴ〜ハラバコア	10×150	1500		0		調査員支部 2"
	コンスタンサ	21	(21)	2×3=6	720×4×2	5760	1800×4×2	14400		0	ハラバコア〜コンスタンサ	10×50	500		0		" " "
	ダハボン	26	(34)	2×4=8	720×6×2	8640	1800×5×2	18000		0	コンスタンサ〜ダハボン	10×(160+280)	4400		0		" " "
	アグアネグラ	7	(7)	1×2=2	720×6×1	4320	1800×5×1	9000		0	サントドミンゴ〜アグアネグラ	10×340×2	6800		0		"支部 1"
	(小計)	(69)	(77)	(20)		(21600)		(52200)		0		(13200)		0	(87000)		
リオ・デ・ジャネイロ	フンシヤール	33	(44)	2×5=10	720×7×1	5040	1800×5×1	9000		0	10×(80×2+10×5)	2100		0	(16140)	調査員支部 1名 ラベキ 1"	
ペレーン	モンテアレグレ	27	(36)	2×4=8	720×5×1	3600	1800×5×1	9000	ペレーン〜モンテアレグレ	4320(12\$)×1×1	4320	モンテ空港〜移住地	10×(50×2+10×4)	1400		0	"支部 1" モンテ事務所 1"
	エフゼオサーレス	28	(56)	2×4=8	720×5×2	7200	1800×5×2	18000	モンテアレグレ〜マウス	5400(15\$)×1×1	5400	10×(50×2+15×4)	1600		0	"支部 1" アナウス事務所 1"	
	ベラビスタ	32	(48)	2×7=14	720×8×2	11520	1800×8×2	28800		0	カカオビレーラ〜ベラビスタ	10×(20×2+10×7)	1100	マウス〜カカオビレーラ(船)	720(2\$)×2×2	2880	"支部 1" アナウス事務所 1"
	アリアウ	15	(15)	2×3=6	720×4×2	5760	1800×4×2	14400	マウス〜ポルトベリヨ	9000(25\$)×1×2	18000	10×(10×3)	300	ポルトベリヨ〜トレゼ	720(2\$)×2×2	2880	" " "
	トレゼセンテ	20	(20)	2×3=6	720×4×2	5760	1800×4×2	14400									" " "
	キナリー	9	(9)	2×2=4	720×3×2	4320	1800×3×2	10800	ポルトベリヨ〜リオブランコ	10200(10\$+5\$)×1×2	32400			リオブランコ〜キナリー	1800(5\$)×1+300×2	2520	" " "
	タイアノ	12	(12)	2×2=4	720×4×1	2880	1800×4×1	7200	マウス〜ポアビスタ	3600(10\$)×2×1	7200	10×(20×2)	400	ポアビスタ〜タイアノ	1800(5\$)×2×1	3600	"支部 1" タイアノ事務所 1"
	カンボウエルジ	7	(7)	2×3=6	720×5×2	7200	1800×4×2	14400	ペレーン〜アマバ	28800(8\$)×2×2	11520	10×(20×3+100)	1600	アマバ〜タビー	1800(5\$)×1×1	1800	"支部 2"
マタビー	8	(8)														"支部 1" トマス事務所 2"	
トマス	130	(408)	3×15=45	720×17×1	12240	1800×16×1	28800	ペレーン〜トマス	1800(5\$)×2×1	3600	10×(10×15)	1500				"支部 1" トマス事務所 2"	

昭和38年度農家経済調査経費積算内訳(3)

支部名	移住地名	調査戸数	(全数)	延人数		日 当		宿 泊 料		航 空 費		燃料(ガソリン)代		バス・タクシーなど交通費		支部別計	備 考
				人×日=延	単価×日数×人数	金額	単価×泊数×人数	金額	経由地 単価(\$) ×回数×人数	金額	1KM当単価×料数	金額	経由地 単価×回数×人数	金額			
ベレーン	グアマ	37	(40)	2×0=12	720×8×2	11520	1800×7×2	25200				10×(100×2+10×0)	2000				調査員 支部 2名
	ロザリオ ムルアイ	20 10	(20) (10)	2×5=10	720×7×2	10080	1800×6×2	21600	ベレーン～サンルイス 1800(5\$)×2×2	7200		10×(100×2+5×5)	2250				" " "
	ベレーン近郊	30	(60)	2×5=10	720×7×2	10080	1800×6×2	21600				10×30×2	6000				" " "
		(38)	(76)	(127)		(80400)		(199800)					(18750)		(13680)	(421590)	
(総 計)		1300	(2620)	417		265680		543600				100950		65400	1225230		

- 注 1. 調査延人員は1人1日3戸として計算した。
 2. 調査員は支部勤務職員と事業所勤務(駐在)職員で構成した。
 3. 職員の日当は720円(2\$), 宿泊料は1,800円(5\$)で計算した。
 4. 燃料費(ガソリン代)は, 1KM当10円(1立で5KM, 1立50円)として計算した。
 5. 現地交通費は最近の資料を使用した絶対正確とはいえない。

昭和38年度
移住地農家実態調査
実施要領

昭和38年12月

海外移住事業団

昭和38年度
 移住地農家実態調査実施要領
 正誤表

頁	行	誤	正
1	下から1行目	モンテ・アレグレ	モンテ・アレグレ
2	上・1	トレセツテンアロ	トレセツテンアロ
5	上・8	且本語	且本語
	上・12	「S—°—」	「S—°—」
	下・7	成 <u>不</u>	成 <u>熟</u>
8	上・11	フォルターサ	フォルタレサ
	下・7-8	イツ <u>△</u> ラ	イツ <u>△</u> ラ
9	上・5	ガルアペ	ガルアペ
	下・1,6,7	アナロス	アナロス

昭和38年度移住地農家実態調査実施要領

目 的

農業移住者の実態を定期・継続的に調査、集計、分析しその現状を把握するとともに今後の営農計画、営農指導ならびに、移住希望者啓発の基礎的資料とするものである。

(注) 日本国内の開拓地については、農林省農地局が中心となつて戦後緊急開拓が開始された翌年からこの種の調査が継続実施され、その結果は開拓地営農実績調査、開拓農家経営経済調査報告書として公表され、開拓地経営指導の重要な指針となつている。

一方海外の移住地については開始後10ケ年を経過したが、その間地域的断片的な調査が行なわれているだけで全地域について統一性、継続性をもつた調査が実施されておらず、ために統合体系的な資料がなく必ずしも科学的計画的な営農指導が行なわれているとはいひ難い。

旧海外協会連合会においてもその必要性を求め、昨年度からこの調査を開始した。今年度も昨年度に継続して略同一の手法でこの調査を実施する。

・調査時期

昭和39年1月～3月の間に実施する。

ただし静態的な要素(調査票の家族構成～借入金残高の10項目)については、38.12.31現在を動態的な要素(調査票の永年作物以降の項目)は、38.1.1～38.1.23.1について調査記入する。

(注) 昨年度は調査時期を支部が任意に定めたが、統計作成予算配付の関係上本年からは上記に統一する。

・調査員

支部の営農指導員および指導農場技術職員または事業所技術職員

(注) 特別の事情なき限り部外者への委嘱は認めない。調査員編成は支部勤務職員1～2名、事業所勤務職員1～2名とし、調査方法の統一、慣熟のため前者は同一人が各地域を巡回することが望ましい。

・調査地区

- (1) サントドミンゴ支部管内…… ハラバコア、コンスタンサ、ダハボン、アグアネグラ
- (2) ベレーン 支部管内…… モンテアレグル、エフゼニオサーレス、

- ベラビスタ(含アリアウ), トレーゼセツテンフロ
 キナリー, タイアーノ, カンボグエルジ, マタビー,
 トメアス, グアマ, ロザリオ, ムルアイ, ベレーン近郊
- (3) レシーフエ 支部管内…… ピオ12世, ビウン, ブナウ, リオ, ポニト,
 クビチエツク, イツベラ, ウナ, レシーフエ近郊
- (4) リオデジャネイロ 支部管内…… ファンシヤール
- (5) サンパウロ 支部管内…… ジヤカレイ, オーリンニヨス, タアタバラ, ドラード,
 グアルゼアレグレ
- (6) ボルトアレグレ 支部管内…… ボルトアレグレ近郊
- (7) フェノスアイレス 支部管内…… ガルアペー, ウルキツサ
- (8) アスンシヨン 支部管内…… テヤベス, フラム, アルトバラナ, カフェー,
 イグアス, アスンシヨン近郊
- (9) サンタクルース 支部管内…… サンフアン

5. 調査対象農家

前年度調査したものを継続する。

なお87年度の抽出基準はつぎのとおりであつたが、今後全数に増減を生じた場合はこの基準によるものとする。

“前項に記載した地区居住の邦人自営農家を無作為に抽出する。但し各地区の抽出比率はその農家戸数に応じ以下の割合とする。”

- | | | | |
|-----|----------|-----|------------------|
| (イ) | 25戸以下 | の地区 | 全戸 |
| (ロ) | 20戸～50戸 | ” | $\frac{3}{4}$ 以上 |
| (ハ) | 51戸～150戸 | ” | $\frac{1}{2}$ ” |
| (ニ) | 151戸以上 | ” | $\frac{1}{3}$ ” |

6. 調査方法

調査員が戸別に訪問し、調査票項目を聴取する。

(注) この場合被調査者が他人の記入欄にやたらに関心を示し調査上支障となることもあるので、農家番号だけ記入するに止め浄書の際に氏名を書き添えることとする。

7. 調査票記入要領

(1) 全般的注意

- ① この調査票1枚に20戸を連記する。
- ② 1枚に他地区のものを混入しないこと。

③ 1地区が2枚以上に亘る場合(1地区の調査戸数が21戸以上ある場合)は左上端の6欄につきの例によつて記入のこと。

№ 1/5 (サンフアン)..... サンフアン地区 5枚の中の1枚目

№ 3/7 (フラム)..... フラム地区 7枚の中の3枚目

④ 右上端支部欄に支部毎の連番号をつぎの例によつて記入のこと。

サンバウロ支部 7/10 サンバウロ支部 10枚の中の7枚目

⑤ コピーを作成する関係上黒インクまたは濃い鉛筆を使用のこと。

⑥ 数字はすべてアラビア数字を用いること。

⑦ 「不明なこと」については「✓」を「無し」の場合は「0」を記入すること。

⑧ 面積、収量については各支部で統一された単位を記入し、その単位をHa(ヘクタール) Kg(キログラム)等メートル法が望ましく、年は西暦年で使用する。

(2) 各項目の記入について

① 農家番号..... 昨年度の分を継承し、番号の若い順から記入する。

(この番号は移住地毎の調査世帯の個有番号とし、転住者を生じた場合は欠番とする。)

② 入植年次..... 当該移住地に入植した年月を「年/月」という形で記入する。

なお同伴者として入植しその後独立したものについては、独立年月を備考欄に「年/月独立」と記入する。年は西歴を使用する。

③ 「年令別家族数」は同一生計の家族(同伴者をふくむ)を満年令で区分する。

④ 「農業従事者数」は専従者1人、補助者を0.5人として記入する。

この場合補助者とは生徒児童、老令者などではあるがこの者の補助がなくは営農に大きな支障を示す者に限り()に表示する。

例 2(0.5) 専従者 2名 補助者 1名

3(1.5) " 3名 " 3名

⑤ 「計画農用地面積」..... 自己の現在所有地と現在固有地、州有地、移住事業固有地であるが将来自己の所有地となる(いいかえれば使用権を有する)土地についてその利用計画に基き耕地、採草、牧草、森林に分け面積を記入する。

⑥ 「現在耕地面積」..... 現在耕作している土地の総面積、借地を含む場合は備考欄に「借地××」と記入する。——「その他」には「普通畑」「樹園地」以外のもの、例えば水田がある場合「水田××」と記入する。

⑦ 「農用建物施設」..... 空欄には畜舎、鶏舎、収納舎以外の主要なる施設がある場合記入する。坪数の単位は坪または㎡を明記する。

- ⑧ 「農機具台数」…… 共有する場合、例えば三人で一台の農機具を共有する場合は「 $\frac{1}{3}$ 」と記入する。「トラック」には「オート三輪車」も含める。
- ⑨ 「家畜頭数」…… 「馬」「牛」「豚」とも「成」「子」の合計を記入し「子」の数「()」内に記入する。「鶏」は雛も含め総数を記入する。雛は()内に入れる。「ラバ」「ロバ」は「馬」に含める。空欄にはその主要な家畜、家禽を記す。
- ⑩ 「現地携行資金」…… 当該移住地入植時の携行資金を記入する。
- ⑪ 「入植以来現在までの借入金合計」…… 「短期資金」「長期資金」とも当該移住地入植以後現在までの事業団(旧海外移住振興株式会社をふくむ)現地金融機関その他より借入金の総累計を記入する。
- ⑫ 「永年作物」…… 当該地区の主要永年作物名を空欄に記入し、その夫々につき「本数」及び「総収量」を記入する。但し幼令のため収穫がなかつた場合でも「本数」に記入する。なお各永年作物につき当該地区単位面積当りの平均植付本数、成熟木平年の平均収量及び完成年(植付から成熟までの所要年数)を調査票末尾に別記する。
- ⑬ 「短期作物」…… 当該地区の主要短期作物名を空欄に記入し、その夫々につき1年間の延作付面積と1年間の総収量を記入する。但し作付面積は収穫期をむかえた短期作物の面積を言う。なお間作、混作などは各作物の土地利用割合によつて夫々の作物の作付面積を算出する。
- ⑭ 「自家消費向生産物評価額」…… 米、野菜、卵、肉、トウモロコシ等々自家用に消費された生産物を時価で評価し、その総額を「食糧」「飼料」に分け記入する。
- ⑮ 「農外記入」…… 賃金(労賃)商業収入等自家當農以外からの全ての収入を言う。農外収入が農業収入に比し多額の場合はその農外収入源となる仕事名を備考欄に記入する。
- ⑯ 「伐開」…… 伐採、山焼き、あとかたづけの経費
- ⑰ 「人夫」…… 「伐開」以外に使用した一切の雇用人夫賃
- ⑱ 「材料」…… トマトの支柱、ブドウ畑用針金、出荷用箱等々
- ⑲ 「主食」「副食及び調味料」
両者が明確に区別出来ない場合は便宜的に両者の合計を両項の中間に記入してさしつかえない。
- ⑳ 「租税公課諸負担」…… 調査年に支払つた外人登録料、身分証明書料、所得税、組合費等の合計を記入する。なお当該地区の通常農家の組合費は欄外該当欄に別記する。
- ㉑ 「備考」…… 前記した「独立年次」「借地」「農外仕事名」のほか、その年度における資本投下額(通常の農業経営費以外のもの)を「資投××」という形で記入する。

又特記すべき事項，例えば「家長1ヶ月入院」「干ばつにより水稲3ha枯死」等々を記入する。

備考欄に書ききれない場合は余白を利用する。

別記事項

- ① 「地区名」…… 移住地名，例えばアルトバラナ，ジャカレイ，ダハボン等と記入する。
- ② 「移住地所在地」…… 当該移住地の国，県（州）郡，村名を記入する（例 ドミニカ共和国ダハボン県，ダハボン市，ピニア）
- ③ 「組合名」…… 法定（登録名を原文で入れる）任意，組合を問わずその日本語の名称を記入する。
- ④ 「入植戸数」…… 当該地区への現在までの入植総戸数を日本人と現地人に分けて記入する。
- ⑤ 「緯経度」…… 「S——°——′」 「W——°——′」という形で記入する。
- ⑥ 「標高」…… 当該移住地の平均標高を記入する。
- ⑦ 「移住地の中心から最寄りの交通機関までの距離」…… 当該移住地の中心から最寄りのバス，汽車等の停留所までの距離を斜にて記入する。
- ⑧ 「共同施設」…… 当該移住地内にあり，入植者が利用し得る全ての共同施設について記入する。事業団貸与のものについては注記する。
- ⑨ 「総括責任者名」…… 支部長或は支部長により指名された本調査の総括責任者の氏名及びサイン
- ⑩ 「通貨換算率」…… 調査時点（38,12,31日現在）での通貨の米ドルとの換算率を記入する。
- ⑪ 「永年作物の単位面積当り平均本数平均収量及び完成年」…… 各主要永年作物につき当該地区での単位面積当りの平均植付本数及び完熟時にある樹の平年作の平均収量及び完成年（植付から成木までの所要年数）を記入する。
- ⑫ 「組合費」…… 当該地区の普通農家の組合維持のための通常負担額を記入する。
- ⑬ 「調査時点」…… 静態調査は調査時点（38,12,31）を記入する。動態調査はこの調査時点から過去1ケ年の実績についてであり「38年1月1日より38年12月31日までの過去1ケ年の実績」を記入する。
- ⑭ 「調査年月日」…… 上記の調査時点（38,12,31）とは別に実際に調査を行なった日付を入れる。

8. 集計，報告書の作成

(1) 集計，報告書の作成は本部で実施する。

したがって各支部は調査票の1部を3.9年4月30日まで本部に送付すること。なお支
は調査票の控1部を保有し支部独自の分析をするとともに来年度調査実施の際の参考にする。

(2) 本部は調査票を分析集計し大要つぎの内容の報告書を作成する。

- ① 各移住地の概要
- ② " 家族構成に関する統計
- ③ " 資産構成に関する統計
- ④ " 作物，作付，収獲高構成に関する統計
- ⑤ " 営農収支構成に関する統計
- ⑥ " 営農収支と労働員数の関連
- ⑦ " 営農収支と入植年数の関連
- ⑧ " 営農収支と資金・農機具の関連
- ⑨ 移住地別，地域別，国別の比較
- ⑩ 統計に表われた各移住地の問題点
- ⑪ 調査個表（氏名を除いた）を添付

(3) 報告書は500部タイプ印刷しつぎの関係各部に配付する。

外務，農林等関係各省（50）	地方海外協会（92）
各 県（92）	事業団体支部（100）
在外公館（50）	移住関連団体（50）
本部用（含予備）（66）	

⑫ これに要する経費（約2.5万円）は3.9年度予算に計上する。

各支部経費として総額1,225,230円（支部別は次表のとおり）

支 部 名	調 査 戸 数	全 数	延 人 員	日 当	宿 泊 料	航 空 賃	燃 料 費	交 通 費	計
サンタクルス	95	285	30	8,640	19,800	0	7,600	0	36,040
アスンシオン	366	910	118	64,800	113,400	14,400	26,000	36,000	254,600
アエノミアイレス	47	84	15	7,920	12,600	30,240	6,900	1,440	59,100
サントドミンゴ	69	77	20	21,600	52,200	0	13,200	0	87,000
リオデジヤネイロ	33	44	10	5,040	9,000	0	2,100	0	16,140
サンパウロ	149	242	48	31,680	66,600	20,880	18,900	18,000	156,060
レシーフエ	119	168	37	30,960	70,200	51,120	3,800	26,280	181,860
ポルトアレグレ	37	50	12	8,640	0	0	4,200	0	12,840
ベレ - ン	385	760	127	86,400	199,800	102,960	18,750	13,680	421,590
計	1,300	2,620	417	265,680	543,600	219,600	100,950	95,400	1,225,230

② 概算内訳と基礎は別表内訳書参照

昭和38年度農家経済調査経費積算内訳(1)

支部名	移住地名	調査戸数	(全数)	延人数 人×日=延	日 当		宿 泊 料		航 空 賃		燃料(ガソリン)代		バス・タクシーなど交通費		支部別計	備 考
					単価×日数×人数	金額	単価×日数×人数	金額	経由地 単価(\$) ×回数×人数	金額	1KM当単価×料数	金額	経由地 単価×回数×人員	金額		
サンタクルス	サンフアン	95	(285)	3×10=30	720×12×1	8640	1800×11×1	19800		0	10×(180×2+50×10)	7600		0	36040	調査員 支部 1名 サンフアン事務所 2名
サンパウロ	ジャカレイ	26	(85)	2×4=8	720×4×1	2880	1800×3×1	5400		0	10×(150×2+20×4)	2800		0		支部 1名 ジャカレイ事務所 1名
	オーリンニヨス	17	(17)	2×3=6	720×5×2	7200	1800×4×2	14400		0	10×(380×2+10×3)	6900		0		支部 2名
	グアタバラ	45	(90)	2×7=14	720×9×1	6480	1800×8×1	14400		0	10×(400×2+10×7)	8700		0		支部 1名 グアタバラ事務所 1名
	ドロードス	30	(50)	2×5=10	720×7×2	10080	1800×6×2	21600	サンパウロ〜ドロードス 3600(10\$)×2×2	14400		0	ジープ賃料 3600(10\$)×5日	18000		支部 2名
	ヴァルビアルグ	31	(41)	2×5=10	720×7×1	5040	1800×6×1	10800	サンパウロ〜ヴァルビアルグ 3240(9\$)×2×1	6480	10×(10×5)	500		0		支部 1名 ヴァルビアルグ事務所 1名
	(小計)	(149)	(242)	(48)		(31680)		(66600)		(20880)		(18000)		(18000)	(156060)	
レシーフェ	ビオ12世	4	(4)	1×1=1	720×2×1	1440	1800×2×1	3600	レシーフェ〜フォルタレーザ 7200(20\$)×1×1	7200		0	フォルタレーザ〜ビオ12世 1800(5\$)×1×1	1800		調査員 支部 1名
	ビウン	9	(9)	1×3=3	720×4×1	2880	1800×4×1	7200	フォルタレーザ〜ナタール 3600(10\$)×1×1	3600		0	ビオ12世〜フォルタレーザ 1800×1×1 ナタール〜ビウン 2160×1×1	3960		" " 1名
	ブナウ	13	(13)	1×4=4	720×6×1	4320	1800×5×1	9000	ナタール〜レシーフェ 3600(10\$)×1×1	3600		0	ビウン〜ブナウ 2880×1×1 ブナウ〜ナタール 1800×1×1	4680		" " 1名
	リオ・ポイント	11	(11)	1×3=3	720×5×1	3600	1800×4×1	7200		0	10×(150×2+10×3)	3300		0		" " 1名
	クビチエツク	49	(98)	2×7=14	720×8×1	5760	1800×8×1	14400	レシーフェ〜サルバトル 10800(30\$)×1	10800		0	サルバトル〜クビチエツク 2160×1	2160		支部 1名 クビチエツク 1名
	イツベラ	10	(10)	2×2=4	720×3×2	4320	1800×3×2	10800	サルバトル〜イツベラ(テコテコ) 3600(10\$)×1	3600		0	クビチエツク〜イツベラ 2160(6\$)×2	4320		支部 1名 移住地 (クビチエツク) 1名
	ウナ	23	(23)	2×4=8	720×6×2	8640	1800×5×2	18000	イツベラ〜イレウス(テコテコ) 3600×1 イレウス〜レシーフェ 14400×1 イレウス〜サルバトル 4320×1	22320		0	イツベラ〜ウナ〜イレウス 3600×2 サルバトル〜クビチエツク 2160×1	5760		
	(小計)	(119)	(168)	(37)		(30960)		(70200)		(54120)		(3300)		(26280)	(181360)	
アスンシオン	チャベス	50	(100)	2×8=16	720×8×2	11520		0		0	10×(50×2×8)	8000		0		調査員 エンガサ事務所 2名
	フラム	123	(370)	2×20=40	720×22×1	15840	1800×21×1	37800		0	10×(100×2)	2000		0		エンガサ事務所 1名 フラム " 1名
	アルトバラナ	93	(280)	2×15=30	720×17×1	12240	1800×16×1	28800		0	10×(100×2+20×1)	7000		0		エンガサ事務所 1名 バラナ " 1名
	カフエー	60	(120)	2×10=20	720×12×2	17280	1800×12×2	39600	アスンシオン〜カフエー 3600(10\$)×2×2	14400		0	ジープ賃料 1日 10\$ 3600(10\$)×10	36000		支部 2名
	イグアス	20	(20)	2×3=6	720×5×1	3600	1800×4×1	7200		0	10×(300×2+20×3)	6000		0		支部 1名 イグアス事務所 1名

昭和38年度農家経済調査経費積算内訳(2)

支部名	移住地名	調査戸数	(全数)	延人数 人×日=延	日 当		宿 泊 料		航 空 費		燃料(ガソリン)代		バス・タクシーなど交通費		支部別計	備 考
					単価×日数×人数	金額	単価×泊数×人数	金額	経由地 単価(\$) ×回数×人数	金額	1KM当単価×料数	金額	経由地 単価×回数×人数	金額		
アスンシオン	アスンシオン近郊	20	(20)	2×3=6	720×3×2	4320		0		0	10×80×3	2400		0		調査員支部 2名
	(小計)	(366)	(910)	(118)		(64800)		(113400)		(14400)		(28000)		(36000)	(254800)	
プエンスアイレス	ガルアペー	38	(75)	2×6=12	720×8×1	5760	1800×7×1	12600	プエノス〜ポサーダス 15120(42\$)×2×1	30240	10×15×6	900	ポサーダス〜ガラソバ 720×2×1	1440		調査員支部 1名 カルアペー事務所 1"
	ウルキツサ	9	(9)	1×3=3	720×3×1	2160		0		0	10×50×2×3	6000		0		"支部 1"
	(小計)	(47)	(84)	(15)		(7920)		(12600)		(30240)		(6900)		(1440)	(69100)	
ポルトアレグレ	ポルトアレグレ近郊	37	(50)	2×6=12	720×6×2	8640		0		0	10×70×6	4200		0	(12840)	
サントドミンゴ	ハラバコア	15	(15)	2×2=4	720×2×2	2880	1800×3×2	10800		0	サントドミンゴ〜ハラバ コア 10×150	1500		0		調査員支部 2"
	コンスタンサ	21	(21)	2×3=6	720×4×2	5760	1800×4×2	14400		0	ハラバコア〜コンスタン サ 10×50	500		0		" " "
	ダハボン	26	(34)	2×4=8	720×6×2	8640	1800×5×2	18000		0	コンスタンサ〜ダハボン 〜サントドミンゴ 10×(160+280)	4400		0		" " "
	アグアネグラ	7	(7)	1×2=2	720×6×1	4320	1800×5×1	9000		0	サントドミンゴ〜アグア ネグラ 10×340×2	6800		0		"支部 1"
	(小計)	(69)	(77)	(20)		(21600)		(52200)		0		(13200)		0	(87000)	
リオ・デ・ジャネイロ	フンシャル	33	(44)	2×5=10	720×7×1	5040	1800×5×1	9000		0	10×(80×2+10×5)	2100		0	(16140)	調査員支部 1名 フンシャル事務所 1"
ベレーン	モンテアレグレ	27	(30)	2×4=8	720×5×1	3600	1800×5×1	9000	ベレーン〜モンテアレグレ 4320(12\$)×1×1	4320	モンテ空港〜移住地 10×(50×2+10×4)	1400		0		"支部 1" モンテ事務所 1"
	エフゼーオ サーレス	28	(56)	2×4=8	720×5×2	7200	1800×5×2	18000	モンテアレグレ〜マナウス 5400(15\$)×1×1	5400	10×(50×2+15×4)	1800		0		"支部 1" アナウス事務所 1"
	ベラビスタ アリアウ	32 15	(43) (15)	2×7=14	720×8×2	11520	1800×8×2	28800		0	カカオビレーラ〜ベラ ビスタ 10×(20×2+10×7)	1100	マナウス〜カカオビレーラ(船) 720(2\$)×2×2	2880		"支部 1" アナウス事務所 1"
	トレゼンテ ンプロ	20	(20)	2×3=6	720×4×2	5760	1800×4×2	14400	マナウス〜ポルトベリヨ 9000(25\$)×1×2	18000	10×(10×3)	300	ポルトベリヨ〜トレゼ 720(2\$)×2×2	2880		" " "
	キナリー	9	(9)	2×2=4	720×3×2	4320	1800×3×2	10800	ポルトベリヨ〜リオブランコ 〜マナウス 10200(10\$+35\$)×1×2	32400			リオブランコ〜キナリ (タクシー) 1800(5\$)×1+1800×2	2520		" " "
	タイアノ	12	(12)	2×2=4	720×4×1	2880	1800×4×1	7200	マナウス〜ポアビスタ 3600(10\$)×2×1 ポアビスタ〜マナウス 〜ベレーン 13320(12\$+15\$)×1×1	13320	7200	10×(20×2)	400	ポアビスタ〜タイアノ 1800(5\$)×2×1	3600	"支部 1" タイアノ事務所 1"
	カンボヴェルジ マタビー	7 8	(7) (8)	2×3=6	720×5×2	7200	1800×4×2	14400	ベレーン〜アマバ 28800(8\$)×2×2	11520	10×(20×3+100)	1600	アマバ〜マタビー 1800(5\$)×1×1	1800		"支部 2"
	トメ・マス	130	(408)	3×15=45	720×17×1	12240	1800×16×1	28800	ベレーン〜トメマス 1800(5\$)×2×1	3600	10×(10×15)	1500				"支部 1" トメマス事務所 2"

昭和38年度農家経済調査経費積算内訳(3)

支部名	移住地名	調査戸数	(全数)	延人数		日当		宿泊料		航空費		燃料(ガソリン)代		バス・タクシーなど交通費		支部別計	備考
				人×日=延	単価×日数×人数	金額	単価×泊数×人数	金額	経由地 単価(\$) \times 回数 \times 人数	金額	1KM当単価 \times 料数	金額	経由地 単価 \times 回数 \times 人数	金額			
ペレーン	グアマ	37	(40)	2 \times 6=12	720 \times 8 \times 2	11520	1800 \times 7 \times 2	25200				10 \times (100 \times 2+10 \times 6)	2600				調査員支部 2名
	ロザリオ ムルアイ	20 10	(20) (10)	2 \times 5=10	720 \times 7 \times 2	10080	1800 \times 6 \times 2	21600	ペレーン \rightarrow サンレイス 1800(5\$) \times 2 \times 2	7200		10 \times (100 \times 2+5 \times 5)	2250				" " "
	ペレーン近郊	30	(30)	2 \times 5=10	720 \times 7 \times 2	10080	1800 \times 6 \times 2	21600				10 \times 300 \times 2	6000				" " "
			(385)	(760)	(127)		(86400)		(198000)		(102960)		(18750)		(13080)	(421500)	
(総 計)		1300	(2620)	417		205680		543600		319960		100050		95400	1225230		

- 注 1. 調査延人員は1人1日3戸として計算した。
 2. 調査員は支部勤務職員と事業所勤務(駐在)職員で構成した。
 3. 職員の日当は720円(2\$), 宿泊料は1800円(5\$)で計算した。
 4. 燃料費(ガソリン代)は, 1KM当10円(1立で5KM, 1立50円)として計算した。
 5. 現地交通費は最近の資料を使用した絶対正確とはいえない。

